

池田龜鑑

源氏物語大成

卷三

校異篇

中央公論社

昭和二十九年二月二十八日 初版發行
昭和四十六年七月三十日 五版發行

源氏物語大成 卷三

定價八〇〇〇圓

編著者 池田龜鑑

發行者 宮本信太郎

東京都中央區京橋二ノ一

印刷者 高橋武夫

東京都新宿區加賀町一の二二

印刷所 大日本印刷株式會社

發行所 中央公論社

東京都中央區京橋二ノ一
電話京橋五九二一番
振替口座東京三四番

目次
夢のうきはし……………1051

補正

み
の
り

みのり

一 本卷ノ校異ニ採擇シタ諸本ノ略號・略稱・筆者並
ビニ所藏者ハ左ノ通デアル。

青表紙本

- 大 大島本(底本)飛鳥井雅康筆 大島雅太郎氏藏
- 横 横山本 横山敬次郎氏藏
- 池 池田本 傳二條爲明筆 桃園文庫藏
- 肖 肖柏本 牡丹花肖柏筆 桃園文庫藏
- 三 三條西家本 三條西伯爵家藏

河内本

- 御 御物本 東山御文庫御藏
- 七 七毫源氏 傳慶運筆 東山御文庫御藏
- 宮 高松宮家本 隆旬筆 高松宮家御藏
- 尾 尾州家本 傳北條時宗筆 徳川侯爵家藏
- 爲 爲家本 傳藤原爲家筆 前田侯爵家藏

- 平 平瀬本 傳後京極良經筆 平瀬陸氏藏
- 大 大島本 大島雅太郎氏藏
- 鳳 鳳來寺本 鳳來寺藏

別本

- 陽 陽明家本 傳西園寺公經筆 近衛公爵家藏
- 保 保坂本 保坂潤治氏藏
- 麥 麥生本 麥生鑑綱筆 桃園文庫藏
- 阿 阿里莫本 桃園文庫藏

一 底本ニハ、卷末ニ奥入ガ存シテキルガ、コレハ別
卷ニ收メタ。

一 鳳來寺本ハ火災ノタメ燒失シテ不明ノ箇所ガアル。

むらさきのうへいたうわつらひ給し御心の後いとあつしくなり給てそこはか
 となくなやみわたり給ことひさしくなりぬいとおとろくしうはあらねととし
 月かさなればたのもしげなくいとゝあえかになりまさり給へるを院のおもほし
 なげく事かきりなししはしにてもをくれきこえ給はむことをはいみしかるへく
 おほし身つからの御こゝちにはこの世にあかぬことなくうしろめたきほした
 にましらぬ御身なればあなかちにかげとゝめまほしき御いのちとおほされぬ
 をとしころの御契かけはなれ思なげかせたてまつらむ事のみそ人しれぬ御心の
 中にも物あはれにおほされる後の世のためにとたうとき事ともをおほくせさ
 せ給つゝいかてなをほいあるさまになりてしはしもかゝつらはむ命のほとはを
 こなひをまきれなくとたゆみなくおほしの給へとさらにゆるしきこえ給はずさ
 るはわか御心にもしかおほしそめたるすちなればかくねんころに思給へるつい
 てにもよをされておなしみちにもいりなんとおほせとひとたひ家をいて給なは
 かりにもこの世をかへりみんとはおほしをきてす後の世にはおなしはちすのさ
 をもわけんと契かはしきこえ給てたのみをかけ給御中なれとこゝなからつとめ

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

【青表紙本】 ⑥ かけとゝめまほしきーかけとゝめまほ
 しき大 ③ 事ともー御事とも横 ⑨ さまーさま有
 ⑩ まきれなくとゝまきれなくと有 ⑩ たゆみなく
 たゆみなう横 ⑫ はちすのさーはちすのは(さ)横 ⑭
 かけ給ーかせ(け)給横

【河内本】 ③ いとゝい宮 ⑤ 給へるをー給を御七
 尾爲平大風 ⑤ おほしーおほしまとひ河 ⑤ ほたし
 たにーほたしに御宮爲ーほたしたに尾 ③ 事ともをー
 事とも七宮 ③ せさせ給つゝーせさせ給つゝ尾 ⑤ 命の
 ほとはーいのちまつまは宮 ⑩ まきれなくゝまきれな
 くて河 ⑩ さるはーさらは御 ⑪ わかーナシ宮 ⑪ 御
 心ー御心ち河 ⑫ もよをされておなしみちにーナシ御
 ⑬ はちすのさをもーはちすのさを宮

【別本】 ① 御心ちー御病保 ② いとーナシ保麥阿 ③
 給へるをー給を陽たまふ保麥阿 ④ いみしかるへく
 ーいみしかむへう陽ーいみしかるへくも阿 ⑤ おほし
 ーおほしみたり陽ーおもほしまとひたれば保ーおもほ
 したり麥阿 ⑤ 御こゝちにはー御心ちに陽阿 ⑤ この
 世にーナシ阿 ⑤ ほたしたにー御ほたしたに保ーほた
 したに麥 ⑥ 御身ー御事陽 ⑥ かけとゝめーかけとめ陽
 ⑥ 御いのちー御身保 ⑥ おほされぬーおもほしわかれ
 御契に保麥阿 ⑦ としころのーとしころふかき保 ⑦ 御契
 ぬ契に保麥阿 ⑦ かけはなれーかけはなれて保 ⑦ 御
 みーはかり保麥阿 ⑦ 人しれぬー人しれす麥阿 ⑦ 御
 心の中にもー御心のうちに陽麥阿ー御心うちに保 ⑦ 御
 おほされけるーおもほしなけれ給へる麥阿 ⑧ ため
 とゝために別 ⑧ たうときーいとたうとき麥阿 ⑨ ほ
 事ともをーことゝも陽ーわさとも保ー事を麥阿 ⑨ ほ
 いあるーほいなる麥阿 ⑨ かゝつらはむーかゝへらは

ん麥 ⑨ をこなひをーをこなひをも保麥阿 ⑩ まきれ
 なくーまきれなくて別 ⑩ おほしーナシ麥阿 ⑪ わか
 御心ーみつからの御み保ーわか御身阿 ⑪ すちーこと
 のすち麥阿 ⑪ 思給へるーおほしのたまふ保 ⑫ みち
 にもー道には保 ⑫ ひとたひーひと陽 ⑬ 世をーよに
 麥阿 ⑬ かへりみんとはーまたかえりみん事は陽ーか
 へりみたまふへくは保ー又かへりみせんとは麥阿 ⑭
 後の世にはー後世は保ーのちのよに麥阿 ⑭ はちすの
 さをもゝ14きこえ給てー蓮に保 ⑭ 御中ー御契保

【青表紙本】 ① かけはなれなんはなれなむ背 ④ す

みかすみかに背 ④ にこりぬへくこりぬへく
池にこりぬへく背 ⑤ おこすをみす池 ⑤ へかめ
りへかめり横 ⑥ なくてなうて横なくは三
⑨ いそきていそきて横 ⑩ さへえん横

【河内本】 ② なやみあついなやみあつかひ御七 ④
すてかたくすてかたく七 ④ にこりぬへく
にこり給つ御 ⑤ 給ぬへかめり給へかめり宮
おほしたらむも ⑥ おほしたらんも御おほしたらむ大
⑦ うらめしくうらめしと御宮爲平大うらめしく
(と)尾 ⑧ おほされけりおほされける宮 ⑨ 給け
る給へる河 ⑩ しらせ給はさりけるにきこへあは
せ給はさりけるを河 ⑪ 御をきてにては御をきてに
は御宮尾爲平大鳳をきてには七 ⑫ 給ける給へる

河 ⑭ たとナシ宮

【別本】 ① へたてへたて陽 ① たてまつらぬた
てまつらす陽奉らん麥阿 ① すみかにかはなれ
なんみしかきかけはなれらん陽すみかにもたれ
はなれなん麥阿 ② おほしまうけたるにおほしま
けたるを陽 ② なやみあついなやみあつかひ陽阿
③ 御ありさまを御ありさま保 ③ ゆきはなれんきさ
みにはひき別保ゆきはなれんきさみには麥
阿 ④ すてかたくおほすてかたく保 ④ すみかに
こりぬへくすみかにかりぬへく陽すみかにこりぬ
へく阿 ⑤ おもひのまの道心し思のまの道心を麥
阿 ⑤ こよなうらなう麥 ⑤ 御ゆるし御心ゆるし
麥阿 ⑥ 心御心保 ⑥ おほしたらむもおほした
ら人も麥 ⑥ なれはなりと保 ⑦ よりてより保
⑦ うらめしくうらめしと保 ⑦ かるかるましきにや
とかるかるましきやうに陽 ⑧ うしろめたくうし

給はんほとはおなし山なりともみねをへたて、あひみたてまつらぬすみかにか
けはなれなん事をのみおほしまうけたるにかくいとたのもしけなきさまになや
みあついで給へはいと心くるしき御ありさまをいまはとゆきはなれんきさみには
すてかたく中々山水のすみかにかりぬへくおほしとこほるほとにたうち
あさえたるおもひのまの道心おこす人人にはこよなうをくれ給ぬへかめり御
ゆるしなくて心ひとつにおほしたらむもさあしくほいなきやうなれはこのこ
とによりてそ女君はうらめしく思きこえ給ける我御身をもつみかろかるましき
にやとうしろめたくおほされけりとしころわたくしの御くはんにてか、せたて
まつり給ける法花經千下いそきてくやうし給わか御殿とおほす二条院にてそし
給ける七そこのほうふくなどしな、たまはずもの、いろぬいめよりはしめて
きよらなることかきりなしおほかたなに事もいといかめしきわさともをせられ
たりことくしきさまにもきこえ給はさりければくはしき事とも、しらせ給は
さりけるに女の御をきてにてはいたりふかくほとけのみちにさへかよひ給ける
御心の程なとを院はいとかきりなしとみたてまつり給てた、おほかたの御しつ

14 18 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

ろめたなく保うしろめたくこそ阿 ③ おほされけり
おほほされけれ阿 ③ たてまつり給けるたまへる
保給へりける麥阿 ⑨ いそきていそきてたまへる
⑨ くやうや麥 ⑩ 七そう僧陽 ⑩ しな
らなるきよくなる麥 ⑩ たまはすナシ保 ⑪ きよ
けりた麥阿 ⑪ 御をきてにては御をきてにて麥阿
⑪ ほとけのみちたうしん陽 ⑫ 給ける給へりける
らせ陽 ⑫ 院はナシ保 ⑫ 給てまつりみたてまつ
らせ陽 ⑫ 給てまつりみたてまつ

らひなにかのことはかりをなんいとなませ給ける樂人舞人などのことは大將の君とりわきてつかうまつり給うち春宮後の宮たちをはしめたてまつりて御かた／＼こゝかしこにみす經ほうもちなとはかりのことをうちし給たに所せきにましてそのころこの御いそきをつかうまつらぬ所なければいとちたきことゝもありいつのほとにいとかく色／＼おほしまうけゝんけにいそのかみの世々へたる御くわんにやとそみえたる花ちる里ときこえし御かたあかしなともわたり給へりみなみひんかしのとをあけておはしますしん殿のにしのぬりこめ也げり北のひさしにかた／＼の御つほねともはさうしはかりをへたてつゝしたり三月の十日なれば花さかりにて空のけしきなともうらゝかにものおもしろく佛のおはすなる所のありさまとをからすおもひやられてことなりふかき心もなき人さへつみをうしなひつへしたきゝころさむたんのこゑもそらつとひたるひゝきおとろ／＼しきをうちやすみてしつまりたるほとたにあはれにおほさるゝをましてこのころとなりてはなに事につけても心ほそくののみおほししるあかしの御かたに三の宮してきこえたまへる

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

あけあわせて麥阿 ⑦おはします―おはす保 ⑦げり
 ね保 ⑧かた／＼の御つほね―御かた／＼のつほ
 阿 ⑨十日十日よひ陽麥阿―十日のほとと保 ⑨花
 さかりにて―花さかり也麥阿 ⑨なとも―なと陽―も
 保 ⑨もの―ナシ麥阿 ⑩ありさま―ありさまは陽麥
 阿―おはすらむ保 ⑩つみを―つみ阿 ⑩こ
 となり―きはことなるに別 ⑪つみを―つみ阿 ⑪こ
 し―へしと保 ⑪こゑも―聲に保 ⑪そら―そら
 の麥阿 ⑫うちやすみて―うらやみて陽保―うちやみ
 て麥阿 ⑫ほと―ほとを保 ⑫たに―たにも麥阿 ⑫
 あはれに―ものあはれに別 ⑬まして―まいてなと麥
 阿 ⑬このころ―このころに陽 ⑬心ほそくのみ―
 心ほそきこと保 ⑭おほししる―おほししる陽―おほし
 しらる保麥阿 ⑭あかしの御かたに―明しの御かたへ
 麥阿 ⑭たまへる―給陽―給へり保

【青表紙本】 ①なとの―なとの宵 ②后の宮―きさい
 のみや横池宵三 ③所せきに―ところせきに横 ④
 御いそきを―御いそきを三 ⑤世々へたる―かゝへた
 る横池 ⑦也げり―なりけり三 ⑧三月―やよひ横
 池宵三 ⑨空―雲横 ⑩おはすなる―おはする横 ⑩
 ことなり―ことなる横池宵三 ⑪そら―そこえ(ら)
 大 ⑬なりては―なりて(は) 大―なりて三

【別本】 ①なにかの―なにくれの陽麥阿―ナシ保 ①
 ことはかりなん―ことをなむ院には保 ②后の宮た
 ち―御宮たち保―后宮麥阿 ②御かた／＼―御方／＼
 に陽 ③こゝかしこに―かしこに陽―こゝかしこに
 たゝ保 ④なと―ナシ麥阿 ④はかりのこと―はかり
 保―よりの事阿 ⑤うち―ナシ保 ⑤たに―たひこと
 に麥阿 ④そのころこの―そのころの陽―そのほとと
 保 ④つかうまつらぬ―いとかく―いつれのほとと
 保 ⑤げにいそのかみの世々へたる御くわんにや―ナ
 シ保 ⑤世々―よゝを陽 ⑥とそ―と阿 ⑥みえたる
 ⑥みえける保―みえたり麥 ⑥なとも―なとも保
 ⑥給へり―たまふ保 ⑦みなみ―みな保 ⑦あけて―

【河内本】 ①なん―ナシ宮 ②とりわきて―とりわき
 風 ②つかうまつり給―つかうまつり給を七 ②后
 の宮たち―きさいの宮河 ③所せきに―ところせき風
 ④いと―いとゝ大 ⑤色／＼―いろ／＼に御 ⑦にし
 の―みなみの宮 ⑦ぬりこめ也げり―ぬりこめ御七尾
 爲平大風 ⑩十日―十日御七宮尾爲平風 ⑩花さか

り―はなのさかり御爲 ⑨おはすなる―おはする御七
 平大 ⑩ことなり―ことなる河 ⑪つみを―つみ大
 ⑫しつまりたる―しつまり給河 ⑬おほししる―おほ
 しとる河

【青表紙本】 ②あめる―あんめる三 ⑤うちあはせたる―うちあはせたる池 ⑤ほのく―とほのほの池 ⑦さへつり―さへつる(り)宵 ⑦ふえ―ふえ(え) ⑦心地して―心ちして宵 ⑨みな人の―みな人の三 ⑩物の―もの三 ⑩もの―上すとも―物―上すとも横 ⑫おほしたる―をほしたる池 ⑬きのふ―ナシ三

【河内本】 ①御かへり―御かへし御七尾爲平大鳳―御かへしこと宮平 ②そこはかとなくそ―そこはかとなくとそ御七尾爲平大鳳 ④この世に―この身は御―この身に七宮尾爲平大鳳 ⑤おもしろし―さまま―のかくのまひともしとをもしろし河 ⑥みえたる―みえわたる御七宮尾爲平大 ⑦さへつりも―さへつるも御七宮

おしからぬこの身なからもかきりとてたき、つきなんことのかなしさ御か

へり心ほそきすちは後のきこえも心をくれたるわさにやそこはかとなくそあめ
る 1 2 8

たき、こる思ひはけふをはしめにてこの世にねかふのりそはるけき夜もす
からたうときことにうちあはせたるつゝみのこゑたえすおもしろしほのくくと
あけゆくあさはらけ霞のまよりみえたる花の色くなを春に心とまりぬへくに
ほひわたりても千とりのさへつりもふえのねにをとらぬ心地してもものゝあは
れもおもしろさものこらぬほとにれうわうのまいてきうになるほとすゑつか
たのかくはなやかににきはしくきこゆるにみな人のぬきかけたるものゝ色い
ろなとも物のおりからおかしうのみみゆみこたちかんだちめの中にもものゝ
上すともてのこさすあそひ給かみしも心ちよけにけうあるけしきともなるをみ
給にものこりすくなしと身をおほしたる御心のうちにはよろつの事あはれにお
ほえ給きのふれいならすおきぬ給へりしなこりにやいとくるしうしてふし給へ
りとしころかゝる物のおりことにまいりつとひあそひ給人くの御かたちあり

14

18

12

11

10

9

8

7

6

5

4

8

2

1

しみな人保 ⑩物の―ナシ別 ⑩おりからにおかしう
―おりからにははしく保 ⑩中―御中保麥阿 ⑪ての
こさす―みなてのこさす別 ⑪なる―ナシ麥阿 ⑫す
くなしと―すくなくのみ陽 ⑫おほしたる―おほしな
りたる陽保麥―おもほしくなりたる阿 ⑬うちにはよ
るつの事―うちはよろつ陽 ⑬くるしうして―くるし
うて保 ⑭としころ―ところ保 ⑭物のおりことに―
事のをりふし事に保 ⑭まいり―まいりて麥阿 ⑭あ
りさまの―ありさま別

【別本】 ①かきり―いまは陽 ①ことのかなしさ―ほ
とそかなしき陽 ①御かへり―御返事麥―御返し阿
②わさ―わさと保 ④けふ―いま保 ④この世―この
み別 ⑤ことに―事を麥阿 ⑥あけゆく―あくる別
⑥あさはらけ―あさはらけの保麥阿 ⑦も―千とりの
も―ちとり陽 ⑦さへつりも―さえつるも別 ⑧ほ
と―ナシ陽 ⑧れうわうの―れうわう保―れうわうを
麥阿 ⑨にきはしくきこゆるにみな人の―おもしろ

本三六

さまのをのかしゝさへともことふえのねをもけふやみきゝ給へきとちめなるら
 ひとのみおほさるればさしもめとまるまじき人のかほともゝあはれにみえわた
 され給まして夏冬のときにつけたるあそひたはふれにもなまいとまじきしたの
 心はをのつからたちまじりもすらめとさすかになさけをかはし給かたゝはた
 れもひさしくとまるへき世にはあらさなれとまつわれひとりゆくゑしらすなり
 なむをおほしつゝくるいみしうあはれなりことはてゝをのかしゝかへり給なん
 とするもとをきわかれめきておしまる花ちるさとの御かたに

たえぬへきみのりなからそたのまるゝよゝにとむすふ中の契を御かへり
 むすひをくちきりはたえし大方ののこりすくなきみのりなりともやかてこ
 のついでにふたんのと經せんほうなとたゆみなくたうとき事ともせさせ給みす
 ほうはことなるしるしもみえてほともへぬれはれいのことになりてうちへさ
 るへき所ゝ寺ゝにてせさせ給ける夏になりてはれいのおつさにさへいと
 々きえ入給ぬへきおりゝおほかりそのことゝおとろおとろしからぬ御心ちな
 れとたゝいとよはきさまになり給へはむつかしげに所せくなやみ給こともなし

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

【青表紙本】

①さへともさへとん朱(も朱)大 ①み
 きゝゝきゝ三 ①なるらむなるらん横 ④かはし
 一かはし大 ⑤あらさなれとあらざれと背 ⑤なり
 なむをなりなむと横 ⑦するもするにも横 ⑧な
 からそゝなからに横 ⑧よゝにとゝよはにと横 ⑧御
 かへり御かへし横御返池三 ⑩事とも事ともを
 横池宵三 ⑩みすほうすほう三 ①ほともほとと横
 池宵三 ⑫寺ゝ寺横 ⑬おほかり補入池

【河内本】

①をのかしゝゝをのかしゝの河 ①さへと
 もさえともの大 ①ねをもねも御爲 ①みきゝ
 給へきゝゝ給へき宮 ①なるらむならん御七宮尾
 爲大鳳 ②さしもナシ大 ②めとまるまじきめと
 まら給はざりし御めとまり給はざりし七宮尾爲平大

みのり

鳳 ②かほともゝかほ御爲かほさへ七尾平大鳳
 ②みえわたされゝみわたされ河 ③なまいとまじき
 なまいとをしき御 ④たちまじりうちまじり河 ④
 すらめとすらめとも御 ⑤ひさしくとまるへきゝひ
 さしかるへき大 ⑤世にはよにも御七尾爲平大鳳
 ⑤あらさなれとあらざらんなれと平 ⑤ゆくゑし
 くへも河 ⑤なりなむをなりなん心ほそきを御七尾
 爲平大鳳なりなん心ほそき宮 ⑦するもするにも
 河 ⑦とをきわかれめてゝとをわかれめてゝ大
 おしまるおほさる御爲 ⑨し大方の次頁8まかり
 てやすみ落丁平 ⑨のこりすくなきなこりすくな
 き大 ⑩と經みと經御七尾爲大鳳御とく經宮 ⑩
 事とも事ともを御大 ①ほともほとと河 ①れい
 のことになりてれいのことにて御七尾爲大鳳れいの
 こと宮 ①おほかりおほかる御 ①御心ちなれと
 御心ちなれは御七宮尾爲大 ①たゝゝそこはかと
 くとゝ河 ①給へは給て河

一三八五

【別本】 ①をのかしゝゝおのかしなゝの陽をの
 しの保麥阿 ①さへともさえとも陽ゝさえの
 ほとをも保 ①ねをもねも麥阿 ①みきゝゝ保阿
 ①なるらむならん保麥阿 ②めとまるまじきめと
 まりたまはざりし保 ②かほともゝかほさえ保 ②
 みえわたされゝみわたされ保 ④たちまじりまし
 陽うちまじり保麥阿 ④すらめとすらめとも陽
 ④たれもたれも陽 ⑤ひさしくひさしくは麥
 阿 ⑤世には陽に世にも保 ⑤あらさなれと
 あらざらんなれと麥阿 ⑤ゆくゑしゆくゑも別 ⑤な
 りなむをなんこゝろほそきを陽なりなむ心ほそ
 保なりなん心ほそきを麥阿 ⑦するもするにも
 に保麥阿 ⑥給なん給はん陽麥阿 ⑦するもする
 にも保 ⑦おしまるおしまるゝ御心そふ保 ⑧中
 一なき保阿 ⑧御かへり御返事麥阿御返し御と
 別 ⑧せんほうナシ麥阿 ⑧ことゝもを陽
 麥阿 ⑩せんほうナシ麥阿 ⑩事ともことゝもを陽
 ⑩へぬれはへにしかは保 ⑩ことになりてう
 ちはへことにて保 ⑫寺ゝに寺ゝに麥阿
 ⑫さへナシ阿 ⑫いとゝナシ陽いとゝしく保
 ⑬きえ入給ぬへきへいりぬへき陽保たえ入ぬへ
 き麥阿 ⑬そのことゝ陽保阿 ⑬おとろおとろし
 からぬおひたゝしからぬ陽麥阿 ⑬御心ちなれと
 心ちなれは保 ⑭たゝゝそこはかとなくたゝ保
 へはたたまひて ⑭むつかしげにナシ麥阿 ⑭所
 せくゝとこせきさまに保

【青表紙本】

④きしきなとーきしきなと宵 ⑥かんた
ちめなとーかんたちめなとは横 ⑥いとーいと池
⑨いとうれしーうれし宵三 ⑩まいらむことーまいり
らん事横ーまいらむこといと三 ⑪しはらくはーしは
し朱(らく朱)は大ーしはしは横池宵三 ⑫御ものかた
りともーおほむものかたりとも池 ⑬うちにーうちに
大ーうち横池

【河内本】

①人くもー人く河 ②御ありさまと
御ありさまに御七尾爲大鳳御ありさまを宮 ③ま
かてさせ給ーまかて給御宮尾爲大鳳ーまかて給ひ七
④なりぬるなとーなりぬると河 ⑤なたいめんーなた
いめんなと河 ⑥かの人なとーかの人と御爲 ⑦ひさ
しきーひさしかりつる御七尾爲大鳳 ⑧やすみーうち

【別本】

②御ありさまとー御ありさまに陽麥阿ー御あ
りさまを保 ②中宮ー中宮も麥阿 ③給ー給はんか麥阿
③まかてさせーまかて保麥阿 ④このーかの保
⑤はたーわたりて陽ーわたりたまひて保麥阿 ④みは
てすなりぬるーみ給てみさしぬるよ麥阿 ⑤なたいめ
んーなたいめんなと保 ⑤給にもー給も麥阿 ⑤かの
人なとーかのほんなと陽ーかの人なとと麥阿 ⑤かの
⑥とーめてーとめて保 ⑥きかれーきと陽 ⑥給ふー
給らん阿 ⑥いとーナシ陽麥 ⑥つかうまつりーつか

さふらふ人くもいかにおはしまさむとするにかとおもひよるにもまつかきく
らしあたらしうかなしき御ありさまとみたてまつるかくのみおはすれば中宮こ
の院にまかてさせ給ひんかしのたいにおはしますすへければこなたにはたまちき
こえ給きしきなとれいにかはらねとこのよのありさまをみはてすなりぬるなと
のみおほせはよろつにつけてものあはれなりなたいめんをき給にもその人か
の人なとみとめてきかれ給ふかんたちめなととおほくつかうまつり給へ
りひさしき御たいめんのとたえをめぐらしおほして御物かたりこまやかにき
こえ給院いりたまひてこまひはすはなれたる心ちしてむとくなりやまかりてや
すみはへらんとてわたり給ぬおきぬたまへるをいとうれしとおほしたるもいと
はかなきほと御なくさめなりかたにおはしましてはあなたにわたらせ給
はんもかたしけなしまいらむことはたわりなくなりにてはへれはとてしはらく
はこなたにおはすればあかしの御かたもわたり給てころふかけにしつまりた
る御ものかたりともきこえかはし給うへは御心のうちにおほしめくらす事おほ
かれとさかしけになからむのちなとのたまひいつることもなしたくなへてのよ

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

うまつらせ麥阿 ⑦ひさしきーひさしかりつる保麥阿
⑦御たいめんー御御たいめん陽 ⑦こまやかにーナシ
保 ⑧院ーおんは保麥阿 ⑧こまひはすはなれたる心
ちしてーすはなれたらん心ちしてこよるは保 ⑧まか
りてーナシ保 ⑧やすみーうちやすみ保ーやすみて麥
阿 ⑨はへらんー給らん陽ー待なん保 ⑨いとうれし
とーうれしく麥阿 ⑩御なくさみなり御心なくさめ
なりや保 ⑩わたらせ給はんもーわたりたまはんは保
⑪はんもー次頁12戀しかりなむーナシ麥 ⑪しはらく
はーしはし陽ーしはし保阿 ⑫おはすればーおほしす
保 ⑫給てー給へし保 ⑬おほしめくらすーおほしめ
す陽 ⑬事ー事も保 ⑭のちーのちの事阿 ⑭のたま
ひいつるーの給つくる陽保阿

のつねなきありさまをおほとかにことすくなゝる物からあさはかにはあらずの
 たまひなしたるけはひなとそこにてたらんよりもあはれに物こゝろほそき
 御けしきはしるうみえける宮たちをみたてまつりたまうてもをのゝの御ゆく
 すゑをゆかしく思きこえけるこそかくはかなかりける身をおしむ心のましりけ
 るにやとて涙くみ給へる御かほのほひいみしうおかしけなりなとかうのみお
 ほしたらんとおほすに中宮うちなき給ひぬゆゝしけになとはきこえなし給はず
 ものゝついてなとにそとしころつかうまつりなれたる人ゝのことなるよるへ
 なういとおしけなるこの人かの人へらすなりなんのちに御心とゝめてたつね
 おもほせなとはかりきこえ給けるみと經などによりてそれいのわか御かたにわ
 たり給三宮はあまたの御中にいとおかしけにてありき給を御心ちのひまにはま
 へにすゑたてまつり給て人のきかぬまにまるかはへらさらむにおほしいてなん
 やときこえ給へはいと戀しかりなむまろはうちうへよりも宮よりもはゝをこ
 そまさりて思きこゆればおはせすは心ちむつかしかりなむとてめおしすりてま
 きらはし給へるさまおかしければほゝゑみながら涙はおちぬおとなになり給ひ

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

なと阿 ①あさはかにはあらず―あさはかならず保
 ②いてたらん―いてらん保 ③物こゝろほそき―心ほ
 そき陽阿 ④しるう―なかく―しるく陽保―中―阿
 ⑤みえけるゝをのゝの―ナシ阿 ⑥宮たちを―みや
 たちも保 ⑦みたてまつりたまうても―みたてまつり
 ても陽 ⑧をのゝの―おのゝ陽保 ⑨御ゆくすゑ
 行すえ陽―御ゆくゑ阿 ⑩思きこえけるゝましりけ
 るにやとて―思聞え給けるにやと阿 ⑪心の―心も保
 ⑫なと ⑬なとて別 ⑭中宮―中宮は陽阿―みや保 ⑮
 などは―なと阿 ⑯きこえなし―きこえ保 ⑰ついて
 ーをり―保 ⑱なれたる―なれぬる保 ⑲人ゝの
 ー人ゝなどの保―人ゝの事阿 ⑳ことなる―ことな
 と陽 ㉑よるへなう―よりとところなく陽阿―よるへな
 くなんとして保 ㉒いとおしけなる―いとしけなる
 などを保―いとおしけなるは阿 ㉓の―その保 ㉔
 のちに―のち陽保―後は阿 ㉕給ける―給阿 ㉖わか
 ーナシ保阿 ㉗わたり給―わたり給ける保 ㉘ありき
 ーはしりありき別 ㉙御心ちの―御心ちのよろしき阿
 ㉚まへにすゑたてまつり―御まへにすゑきこえ陽 ㉛
 みに―おりなとには保―ほとなどには阿 ㉜はへらさ
 らむに―侍へらさ置には保阿 ㉝おほしいてなんや―
 おほしいて―むや別 ㉞給へは―給へはおいすけて保
 ー給へはおよすけて阿 ㉟いと―ナシ阿 ㊱きこゆれ
 は―きこゆれ保 ㊲心ちむつかしかりなむとて―いと
 心ちむつかしからんと保―心にむつかしかりなんとて
 麥阿 ㊳めおしすりて―めをすりて麥阿 ㊴さま―さ
 まの別

【青表紙本】 ⑤たまうても―給ても横 ⑥御ゆくすゑ
 ーおほんゆくすゑ池三 ⑦こそ―ことそ宵 ⑧給へ
 る―給へり宵 ⑨いみしう―補入三 ⑩おもほせ―お
 ほせ横 ⑪三宮は―補入池 ⑫御心ち―御こゝろ三
 ⑬うちうへ―うちのみや(うゑ)横 ⑭思きこゆれ
 は―思きこゆれ宵三 ⑮めおしすりて―めをすり三
 ⑯おとなに―おとこなとに横

なる―いとをしけなるなどを河 ⑥はへらすなりなん
 ー侍らさらん御七尾爲大鳳―侍らさらん平 ⑦き
 こえ給ける―きこえ給けに七 ⑧みと經―みとせ御―
 御とくきやう宮 ⑨三宮は―三宮御―三宮の七尾爲平
 大鳳 ⑩御中に―中に御 ⑪ありき給を―なに心なく
 はしりありき給を河 ⑫御心ちの―御心を御心ちよろ
 しき御―御心地よろしき七尾爲大鳳―御心の宮 ⑬
 ひまには―(き)にはは大 ⑭はへらさらむに―侍ら
 さらんには御七尾爲平大鳳 ⑮おほしいてなんや―お
 ほし出なん爲 ⑯ときこえ給へはいと戀しかりなむ―
 ナシ御爲 ⑰いと―ナシ七 ⑱思きこゆれは―思ひま
 いらすれは河 ⑲心ちむつかしかりなむ―いとむつか
 しかりなん御―いと心地むつかしかりなん七尾爲鳳
 ⑳さま―さまの河 ㉑おかしければ―いとをかしけれ
 は御七尾爲平大鳳 ㉒涙は―なみた大

【河内本】 ①ありさま―ありさまなと御七尾爲平大鳳
 ②あさはかにはあらず―あさはかならず河 ③なと
 そ―なとは御 ④御けしきは―けしきは御 ⑤しるう
 ⑥をのつからし―御ゆくゑ宮 ⑦かく―ナシ平 ⑧なと
 ⑨御ゆくすゑ―御ゆくゑ宮 ⑩こそ―御 ⑪いと―おしけ
 ーなとて河 ⑫なとにそ―なとこそ御 ⑬いと―おしけ

【別本】 ①ありさまを―ありさまなとを陽保―有さま

【膏表紙本】 ②もてあそひもてあそひ骨 ⑤なみた
 の涙骨三 ③おつへかめればおつへかんめれば
 三 ④おほしたてまつりおほしたてまつり横池
 骨三 ④給へれば給へければ骨 ④きこえ給はん
 きこえむ三 ⑤まちつけてまちえて横 ⑤なりては
 一なりて横 ③給なんとお給はんと骨 ③きこえまほ
 しうきこえまほしく横 ⑤ひまなきもひまなきに
 も骨 ⑤きこえまほしく横 ⑤えきこえ池 ①こよな
 うこよなく三 ⑩給しをたまはさりしを横

【河内本】 ②心とめて御心とめて御七宮尾爲平
 鳳御心とめて大 ②さるへからむさりぬへから
 ん河 ②仏にもほとけに御爲 ②たてまつりたて

なはこゝにすみ給てこのたいのまへなるこうはいとさくらとは花のおりくに
 心とめてもてあそひ給へさるへからむおりは仏にもたてまつり給へときこえ
 給へはうちうなつきて御かほをまもりてなみたのおつへかめればたちておはし
 ぬとりわきておほしたてまつり給へればこの宮とひめ宮とをそみさしきこえ給
 はんことくちおしくあはれにおほされける秋まちつけて世中すこしすしくな
 りては御心ちもいさゝかさはやくやうなれと猶ともすればかことかましさるは
 身にしむ許おほさるへき秋かせならねと露けきおりかちにてすくし給中宮はま
 いら給なんとするをあまはしはしは御らむせよともきこえまほしうおほせともさ
 かしきやうにもありうちの御つかひのひまなきもわつらはしければさもきこえ
 給はぬにあなたにもえわたり給はねは宮そわたり給けるかたはらいたけれとけ
 に見たてまつらぬもかひなしとてこなたに御しつらひをことにせさせ給こよな
 うやせほそり給へれとかくてこそあてになまめかしきことのかきりなさままさ
 りてめてたかりけれときしかたあまりにほひおほくあさくとおはせしさかり
 は中このよの花のかほりにもよそへられ給しをかきりもなくらうたけにお

たまつり爲 ②きこえ給へはきこへをき給へは河
 ③御かほを御かほ大 ③まもりてまもり七鳳
 おつへかめればおちつへかめれば七宮 ④おほした
 てまつりおほしたてまつり河 ④給へれば給
 つれば御大給へは七 ⑤すこしナシ御 ⑤なりて
 は一なりゆくに河 ⑥ともすればとりすれば御 ⑦
 おりかちにてをりからにて御 ⑦中宮は中宮御
 ⑦まいり給なんまいり給はなん七 ⑧しはしはし
 ははしはしはしはしはしはしはしはしはしはしはし
 ⑧御 ⑨ひまなきもひまなきにも御七尾爲平大鳳
 ⑨きこえ給はぬにえきこへ給はぬに河 ⑩あなたに
 もあなたに大 ⑩えわたり給はねは宮そわたり給け
 りえわたり給える御 ⑩わたり給けるこなたにお
 たり給へる七宮尾平大鳳 ⑩こなたにわたり給はる爲
 ⑩かたはらいたけれといとかたはらいたけれとも河
 ⑪かひなしかなし大かひし鳳 ⑫こそうち御
 ⑬あまりあまりに御七宮尾爲平鳳 ⑭おはせし御

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

のし給し河 ⑮さかりはさかりには御 ⑯このよの
 花のかほりにもよそへられこのよの花このかほりに
 もかそへられ御

【別本】 ①さくらとナシ阿 ①おり心に心とめて
 ており心に心とめて麥阿 ②さるへからむ
 さりぬへからん保麥阿 ②おりはおりには保 ②仏
 にも一仏に麥阿 ②給へると給へなと保 ②きこえ給
 へはきこえをき給へは保聞えは麥 ②うちうなつ
 きてうちななきも保ううなつき給て麥阿 ④お
 つへかめればをつへかめれば陽おちぬへかめれ
 は麥阿 ④とりわきてとりたて保 ④おほしたて
 まつりおほしたてたてまつり陽保阿 ④ひめ宮とを
 そひめきみとをそ陽阿ひめ君とを保 ④きこえ
 たてまつり保 ④給はん給てん麥阿 ⑤すこしナ
 シ保 ⑤なりては御心ちもなり行に御心も保 ⑥な
 れと一なりけれと麥阿 ⑥猶ナシ保 ⑦おほさるへ
 きおほしめさるへき陽 ⑦秋かせならねとかせな
 れと別 ⑦すくしすくし保 ⑦中宮は中宮も陽
 麥阿宮は保 ⑧しはしはしはしはしはしはしはしはし
 よこらむしはてよ保御らんせんよ阿 ⑧御らむせ
 ほしう聞えまほし保 ⑧おほせともおほせと別
 ⑨ひまなきひまはなき保 ⑨きこええきこえ保
 ⑩わたり給けるこなたにわたり給保 ⑩御しつらひ
 を御しつらひと保 ①ことこにことさらに陽ナ
 シ保 ①こよなういとこよなく保麥阿 ②まさりて
 さまかきりなれしは麥阿 ②まさりてたかり
 けれそひてめてたけれ保 ③きしかたあまりきし
 かたは麥阿 ③おはせしはのし給し保 ④さかり
 さはかり阿 ④かほりにもさかりに保 ④かほりに
 そ麥阿 ④給しを給を阿 ④おかしける御さま
 にてをかしけにて保